



中華圏における幹部人材育成



住友電工グループでは
米州、欧州、東南アジア・豪州、中華圏において
毎年、主管者会議を実施しています。
今回は2018年12月に中国・天津で行われた
第4回中華圏主管者会議についてご報告します。

期 日 2018年12月17日(月)

場 所 ザ・リッツ・カールトン天津

スケジュール

- 社長あいさつ
- 中華圏における幹部人材育成教育と
エリアコミッティ活動の展開について
- エリアコミッティ活動報告
PR(広報)などをテーマに5委員会からの報告
- アクションラーニング最終報告
住友事業精神、中華圏でのCSRなどをテーマに
5チームからの報告
- 当社コーポレート部門報告
経営企画部など7部門からの報告
- 当社経営層による講評
- 懇親会



Tianjin, China

// 第4回中華圏主管者会議には52社168名が参加

2018年12月、中国・天津にて開催された会議には、中華圏にある当社グループ会社の幹部等が一堂に会し、各社の近況報告に加え、エリアコミッティ活動報告やアクションラーニング最終報告が行われました。当社コーポレート部門からも22VISIONなどをテーマに報告がなされるとともに、日本から井上社長をはじめ西田副社長、賀須井専務取締役も参加し、活発な意見交換と人材交流が行われ、大変充実した会議となりました。



// 中華圏のエリアコミッティと幹部人材育成



エリアコミッティとは、2011年に北米でスタートし、現在では、米州、欧州、東南アジア・豪州、中華圏の4つの地域に展開された活動です。各地域におけるグループグローバル幹部(GG幹部)が中心となり、地域共通の課題に個社の枠組み・事業の垣根を越えて取り組み、その内容を主管者会議で当社経営幹部に報告しています。また、相互の人材交流を深める場としても機能しています。

中華圏におけるエリアコミッティは、各社の幹部候補社員を対象とする幹部人材育成プログラムの一環として現地固有の経営課題に取り組む「アクションラーニング」が起点であるところに特徴があります。アクションラーニングでの検討テーマと参加者を引き継ぐ形で、GG幹部とともに活動を進め、発展してきました。2019年度からはエリアコミッティ推進の本来の形である、組織、人員予算が伴った体制への段階的移行が期待されています。

// 幹部人材育成にも通じる中華圏主管者会議

中華圏の主管者会議では、エリアコミッティの活動報告のみならず、アクションラーニングの最終報告が行われることは特徴の一つです。中華圏のGG幹部が3名ということもあり、現地社員の中から次代の幹部人材を早期に育成することは重要な課題です。アクションラーニングの報告者には若い世代が多く、主管者会議で自らの研修成果を当社グループの経営層に直接発表し、講評を受けるチャンスにもなっており、幹部人材育成の面からも意義のある運営となっています。

今回の主管者会議で報告されたアクションラーニングでは、中華圏における住友事業精神の浸透やCSR活動の展開がテーマとして取り上げられたほか、5つのテーマそれぞれに意欲的な研究成果も報告されました。

